

北海道  
札幌  
中島  
公園

八田  
三郎  
氏





和同本上卷可

作  
年  
行  
長  
每  
日

井高村をあらわす

かみ田まゝの家をいふ

井の字は一寸に憶ふ

かみ田まゝ村をいふ

井高村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

かみ田まゝ村をいふ

本館... 流...

お申上は得と調製せられた

戸にりか... 日暮より

倍倍... 法海の下

は小橋も... 事... 日

人... 事...

搦田を... 人... 事...

... 事... 事...

也立心を... 事... 事...

... 事... 事...

抱き... 公は己

上... 事...

... 事... 事...

... 事... 事...

... 事... 事...

... 事... 事...

... 事... 事...

... 事... 事...

... 事... 事...

... 事... 事...



「ふる」は「欲」也。此は「大」  
に「ふる」と「欲」と「助」カサレ

「天下の風」に「至」るも  
「一」天下の風「に」至るも

「也」大「先」の「世」今「の」世「の」  
人「は」山「に」坐「る」も「た」た「し」

「意」を「南」有「る」は「北」に

「者」山「に」坐「し」ま「よ」む「も」

「美」村「の」名「に」他「の」山「が」本

「こ」の「名」を「用」ひ「て」

「村」に「と」あ「ら」せ「る」

「平」月「昔」の「名」

「田」之

「山」に「坐」る「も」

「山」の「方」に「坐」る「も」

「山」本「に」坐「る」も

「山」の「方」に「坐」る「も」